

キャラクター名 雨野三矢(あまのみや)	プレイヤー名
------------------------	--------

シンドローム	ハヌマーン ハヌマーン	ワークス	探偵	カヴァー	探偵
オプション		年齢	見た目20代	性別	男性
覚醒	探求	衝動	吸血	初期侵食率	31%
出自	双子	経験	永劫の別れ	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	2	0	0	1		3	(非装備時)	9
精神	2	1	0			3	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:	2		芸術:			知識:			情報:	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ウィンドブレス+援護の風+サイレンの魔女	RC	10r+12	10	21		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ:要人への貸し		ロイス			
コネ:ハッカー		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ
コネ:UGN		古代種	P	N	消費
コネ:情報屋		双子	P 懐旧	N 劣等感	
携帯		アルフレッド・J・コードウエル	P 懐旧	N 無関心	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		マスターレギオン	P 尽力	N 脅威	
		最大財産P:	4	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ルーラー	2	6	セット	視界	シーン(選択)	自動	Dロイス	
効果: このラウンドの間、対象が行うあらゆる判定のダイスに-Lv個 1シナリオに3回								
サイレンの魔女	7	5	メジャー	視界	シーン(選択)	対決		
効果: [攻撃力:+Lv*3]の射撃攻撃。このエフェクトを組み合わせた攻撃は装甲無視。コンセントレイト使用不可								
疾風迅雷	3	3	メジャー			対決	ピュア	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃に対称はドッジを行えない。1シナリオにLv回								
援護の風	7	2	オート	視界	単体	自動		
効果: 対象が判定を行う前に使用。判定のダイスを+Lv個。1ラウンド1回								
ウィンドブレス	4	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果: 援護の風を使用する前に使用。援護の風を使用した判定の達成値+ [Lv*3]								
無音の空間	★		メジャー	視界	単体	自動		
効果: 気配を完全に遮断するめう								
軽功	★		常時	至近	自身	自動		
効果: 超身軽								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【名前の由来】
 雨野:よく雨のような軽やかなステップで動く様から
 サムディ・レイン:それは昔聞いた音かもしれないし、これから聞く音かもしれない。という古代種のロイスの特徴と、足音を雨に見立てつけた。

【性格】
 楽観主義で秘密主義の男。
 自分によく似た人間を探して旅に出ている。様々な人とギブアンドテイクの関係を築き上げ、出先の衣食住などお世話を頼むなどとそこそこやり手。
 探偵をやっており、一応事務所はどこかにあるらしい…
 UGNとも対等な立場で渡り合う。老年から青年問わず、たまに歳下を扱うような口ぶりです。

友達は片耳につけたイヤリング。軽口を叩きながら今日も様々なところへ旅をしている。

一人称:俺 二人称:君

「初めまして、俺は雨野。こっちは相棒のアリオン。よろしく」
 「ま！生きてればなんとかなるでしょ。人生は長いんだ。ゆっくり行こうよ」
 「久しぶりだね、片割れ」

【過去】
 生まれはオーヴァードがオーヴァードと呼ばれるよりも前にあった辺鄙な村。
 三矢は片割れである二三と共に生まれた。当時双子というのは不吉の象徴とされていて、困り果てた親は9歳時点で優秀な子を息子とし、もう片方は山に捨てよう。と村民と話し合い、育てる事にした。